



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 18

発行 令和2年7月31日
発行責任者 校長 菅野 靖



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒〔知〕
広い視野をもち、思いやりのある生徒〔徳〕
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒〔体〕

1学期の65日間の授業を終えることができました

4月6日に始まった新学期、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、4月22日から5月18日までの26日間の臨時休業となりましたが、本日、65日間の1学期を終業することができました。そのような苦難の状況でも、子ども達は、やるべき事を確実にやり、学習と生活に一生懸命に取り組んでいました。これからは、予測困難な時代を生きぬいていくために必要な資質・能力を身に付けることが大切です。この1学期の取組や経験で、新たな自分の創造へと一歩を踏み出し、4月よりも成長させることができたのではないのでしょうか。

明日から、18日間と短い夏休みですが、1日1日を有効に使い、自分で決めたことを確実に実行する夏休みにして欲しいと思います。自分の取組が自分で立てた計画に追い越されないように、強い意志を持って学習に取り組む、充実した夏休みになることを願っています。また、「新しい生活様式」に従い、新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、規則正しい生活を送り、事故等に十分に気をつけながら健康に過ごして欲しいと思います。

夏休み明けには、全員が元気に2学期のスタートが切れるよう、保護者の皆様のご家庭での声かけや励まし、地域の方々の見守りをよろしくお願い致します。

7/29 白河市教育委員会の方々が授業参観

7月29日（水）に白河市教育委員会の教育長様を始め3人の先生方が五箇中学校を訪問され、5校時の授業の様子を参観されました。1年生の国語の授業と2年生の英語の授業、3年生の社会の授業を参観されました。3年生の授業では、グループの話し合い活動により、他の人の考えを参考にしながら多角的に考察し、よりよい考えを導き出す工夫がなされていました。訪問された先生方からは、「少人数の良さを十分に生かした活動がなされ、授業に集中した生徒の姿が見られた。」「真剣に授業に取り組んでいる日々の積み重ねが、学力の向上に結びついている。」「自分の考えをもち、大人数の中でも自分の意見を堂々と表現できる力を伸ばしてほしい。」など、お褒めの言葉をいただきました。

【3年生の社会の授業】



7/22 授業参観（全学年「道徳」の授業）お世話になりました

7月22日（水）に授業参観と学年保護者会が開催されました。各学年の授業は道徳の授業を参観して頂きました。令和3年度から中学校でも新しい学習指導要領で教育課程が完全に実施されます。道徳は「特別の教科 道徳」（道徳科）となり教科の仲間入りとなります。道徳教育の目標は、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことにあります。ねらいに沿って、自分の考えを把握し、他の人の考えや資料の作者の考えなどに触れながら、自分の考えを揺さぶられたり、新たな価値に気づいたりする授業であることが、これからの道徳科で求められます。下記が、今回の授業のねらいと生徒の変容の様子です。

学年	1学年	2学年	3学年
ねらい	自分にも友達を励まし支えていくことができることに気づく。	本当の優しさとは何かについて考える。	家族愛を自覚し、良い家庭を築く思いを育てる。
生徒の変容	励ましの言葉だけでなく、相手の気持ちを受け止め、前向きに考える姿が見られた。	自分なりの考えをもち、他の人の考えを受入ながら、いろいろな優しさについて考え、理解しようと悩む様子が見られた。	親の思いや自分の言動の裏腹な思いについて表現し、親の愛情や自分の振る舞いを内省し、家族の愛情を考える姿が見られた。